



二人で挑んだ「さかあがり」

校長 中山 克彦

「さかあがり 見てくれていた 秋の空」これは、第9回かわなべ青の俳句コンクールで最高賞に輝いた当時日置市立扇尾（おうぎお）小学校（現在は閉校）の2年生だった野口青葉さんの作品です。私はこの野口さんの句が大好きで、この時期、よく思い出します。五七五、たった17音の中に、どれほどの思いや情景が凝縮されているか、皆さんはどう読み取られるでしょうか。私はこんな様子を思い浮かべます。秋の夕暮れのことでしょうか。たった一人で何度も何度も練習してやっとできた逆上がり……。逆上がりだからこそ、何度も何度も空が見えたのでしょうか。やっとできたそのときも美しい秋の空だけは見てくれていた。「やったあ！できたあ！」との喜び・達成感が伝わってきます。さらに、これを「生きている喜びの実感」「艱難辛苦を乗り越える心の支え」にも繋がる、とまで考えてしまうのは大げさでしょうか。

さて、9月8日（日）に開催された体育大会。本校の生徒たちもこの日に向けて人知れず練習に励んだりアイデアを出し合ったりしていたことでしょう。これまでで最も少ない人数、そして厳しい暑さの中での練習。体力的なものはもちろん、心の中では、様々な思いのせめぎ合いや無意識の葛藤もあったことでしょう。2人の生徒がひたむきに取り組む姿に、私は「さかあがり」を重ねて見ていました。

当日は、天候にも恵まれ、多数の御来賓、地域住民、保護者や御親戚の方々の御参加・御協力により盛大に開催することができました。毎年恒例、奄美伝統の種目に加え、当初予定になかった「組対抗綱引き」「有志によるエール」も今大会への皆様の思いが形になった、胸が熱くなるものでした。まさに今の市校、市校区でしかできない、生徒がスローガンに込めた「ONE OF A KIND（唯一無二）」の体育大会になったと思います。

最後に、閉会式での生徒へのメダル贈呈についてふれたいと思います。今年は人数の関係で伝統の紅白対抗にせず、優勝旗授与がなかったです。本来は、この瞬間に子どもたちの勝った喜び、負けた悔しさ、そしてお互いへのリスペクトが凝縮されるものです。そこで、それに代わる、何か一人一人がベストを尽くしたことを称えるものはないか、と職員が考え、形になったものが、この記念すべき大会スローガンと日付が記されたメダルです。会場の皆様の万雷の拍手の中、一人一人メダルをかけてもらうときの満面の笑顔は、この日の青い空に負けないくらい爽やかなものでした。



選手入場 先頭で堂々と行進



美しい秋空に見守られて
全員で輪になった八月踊り



校区合同体育大会ありがとうございました！！



9月8日(日)、令和6年度の市中学校・校区合同体育大会が、秋晴れの下、開催されました。

今年は、生徒・職員共に、地域の3色の組に分かれて、様々な種目を競い合いました。中でも地域の応援団長が生徒2人にエールを贈ってくださったり、生徒の親戚もたくさん集まって一緒に競技したり、来賓の方々もたくさんの種目に参戦して下さって、市中のグラウンドに集った全員で創り上げたスローガンどおり「ONE OF A KIND (唯一無二)」の体育大会となりました。

今年は、赤組(前山、前田、前作、廻田)が優勝。市集落の皆さんの笑顔がたくさん見られたすばらしい体育大会となりました。



文化祭の御案内



令和6年度の市中学校・地域合同文化祭を下記の通り実施いたします。作品出品に関して、別プリントで配布してあります。ご協力お願いいたします。〔不明な点は、学校にお問い合わせください。〕

- 日 時：令和6年 10月20日(日) 9時00分～11時05分
 ○場 所：市中学校体育館(舞台発表)、1階オープンスペース(展示発表)
 ○お知らせ：
 ★「展示作品出展希望調査用紙」は、10月8日(火)までに市中へ提出もしくは電話でのご連絡をお願い致します。
 ★展示作品搬入は、10月15日(火)からです。職員にお声かけください。

〔10月行事〕

- 13日(日) 住用地区町民体育祭
- 20日(日) 市中・校区合同文化祭
- 25日(金) ゆらおうタイム
- 29日(火) 中3実力テスト(～30日)

〔11月行事〕

- 6日(水) 火災避難訓練
- 7日(木) ゆらおうタイム
- 8日(金) 市弁論・英語スピーチ大会(会場：朝日中)
- 9日(土) 土曜授業
- 13日(水) 市小・中学校音楽発表会(会場：奄美川商ホール)
- 26日(火) 期末テスト(～28日)
- 29日(金) 学級PTA・学校保健委員会

